

## 平成31年度（令和元年度）宇佐市市長賞詞受賞者

No.	表彰区分	氏名	年齢等	住 所
	市長賞詞	みやたけ ますみ 宮竹 眞澄	69歳	北海道旭川市東旭川町
1	<p>宮竹眞澄氏は宇佐市清水の出身で、幼少から高校までを宇佐市で過ごされました。その後、福岡市の専門学校へ進学、就職のため上京され昭和48年に結婚退職。以後、専業主婦の傍ら独学で人形創作を始められました。</p> <p>平成4年に第8回人形道展で初入賞。平成18年には道展で初入選された後、平成28年まで連続11回入選されています。</p> <p>平成20年から始められた全国巡回展「心のふる里人形展」は、これまで全国45か所を巡り、平成31年4月3日から大分県立美術館で開催中の個展で100回目の節目を迎えられました。宇佐市においても平成27年に「合併10周年記念事業展」、平成29年には「ふるさと作家作品展」を開催されております。</p> <p>生まれ育った古里宇佐の自然と人情が創作の原点という氏の作品は、昭和の情景や農村で働く人などを題材としたもので素朴さや温かみがあり、見る人に多くの感動を与えています。</p> <p>また、氏はこれまでに、還暦同窓会に集った旧友をモデルとした「還暦その後」や双葉山をモデルとした「日下開山」の2作品を宇佐市へ寄贈されました。そのうち、「還暦その後」の作品は、市民図書館に展示され、訪れる多くの市民の目を楽しませてくれております。</p> <p>長年にわたり人形創作に打ち込み独自の作風を築き上げ、その作品で全国各地の人々に感動を与えている氏の活動は市民の誇りであり、本市の文化振興に対する功績は誠に大きいものであります。</p> <p>その功績に対しまして、市民の榮譽と喜びとして讃える「市長賞詞」を贈呈いたします。</p>			